

名西郡国語研究会のあゆみ

1 本郡の状況

郡の小教研国語部会として位置づけられ、神山町2校、石井町5校の国語主任と国語部員で組織されており、県と同一研究主題で国語教育の実践に取り組んでいる。

今年度は、「主体的・自覚的にことばを学ぶ子どもが育つ国語科授業の創造」について、各校での研究の取り組みが中心となった。

2 研究組織

係校長	久米 利國（高川原小）	係教頭	橋本 順次（藍畑小）
部長	堂前 正美（浦庄小）	副部長	岸 笑子（広野小）
会計	喜多多恵子（高川原小）		
作文読本編集委員	西村 恵（高原小）	河野 由美（藍畑小）	

3 研究主題

主体的・自覚的にことばを学ぶ子どもが育つ国語科授業の創造
「読むこと」を基盤に、知識・技能の習得と活用する力の育成を図る学習指導

4 研修のあゆみ

(1) 郡研修総会国語部会（平成21年4月16日 石井小学校）

- ・組織づくり
- ・研究主題の検討，決定
- ・本年度の研修計画，事業計画
- ・作文読本の活用について

(2) 名西郡統一研修会国語部会（平成21年6月11日 石井小学校）

研究授業 第1学年 指導者 川崎 美保 教諭

単元名 「あいうえおで あそぼう」

講師 米田 直紀 先生（鳴教大附属小学校教諭）

（指導案より一部抜粋）

単元名 あいうえおで あそぼう

本時の目標

学習者の活動目標

- 1の3の「あいうえおうた」をつくろう。

指導目標

- 五十音のそれぞれの行から始まる言葉を集め、調子よく唱えられるうたにまとめて楽しく読むことができるようにする。

本時の展開

学習活動	指導上の留意点	具体的評価基準
1 「あいうえおのうた」を唱え，学習課題を確認する。	1 本時の課題と学習の流れを確かめさせ，自分たちのうたを作る意欲を持たせる。	言葉を集めて，調子よく唱えられるうたにまとめて楽しく読んでいる。
1の3の「あいうえおのうた」をつくろう		
2 自分の担当する行のことばを集めて書く。	2 集めた言葉から，自分たちのうたにふさわしい言葉を選ぶようにさせる。	
3 二人組で言葉を出し合って，調子よく唱えられるようにまとめる。	3 二人組で読み合って，唱えやすい楽しいうたとなるように，友達の選んだいろいろな言葉を唱えさせる。	
4 二人組で作ったうたを発表しあう。	4 選んだ言葉や唱え方の工夫など，よいところを伝え合うようにさせる。	
5 できた「あいうえおのうた」をみんなで唱えて楽しむ。	5 教科書のうたと同じように言葉のリズムを感じながら唱えさせる。	

授業研究会

- ・子供たちは二人組になり，自分の「あいうえおのうた」を楽しく作っていった。とても意欲的で生き生きと学習することができていた。講師の先生からは，入門期の子どもたちの「ことば」を増やすためには，話す場を増やすことが大切であり，そのためには「読むこと」が基盤になるというお話を分かりやすくご指導いただいた。

(3) 名西郡夏季研修会国語部会 図書館部会（平成21年7月23日 石井小学校）

演 題 「読むこと」の大切さ，ブックトークを通して

講 師 上田 正純 先生（芝坂小学校校長）

- ・読書の楽しさを，実践を交えてお話いただき大変参考になった。

(4) 県統一研究大会に参加して（平成21年11月20日 新開小学校）

教師自らがして見せて，一人一人に応じたあらゆる方向からのきめ細かな支援の大切さを学んだ。子どもと先生が一体となって授業をつくり上げ「この研究で学んだことを子どもに届ける」という姿勢を感じた。午後の講演では，参会者全員で憧れの大高先生のご指導のもと，俳句作りの楽しさを味わった。そして「言葉が大好きで，自分が大好きな子どもを育てる」という先生の言葉を心に刻んだ。

（浦庄小学校教諭 堂前 正美 記）